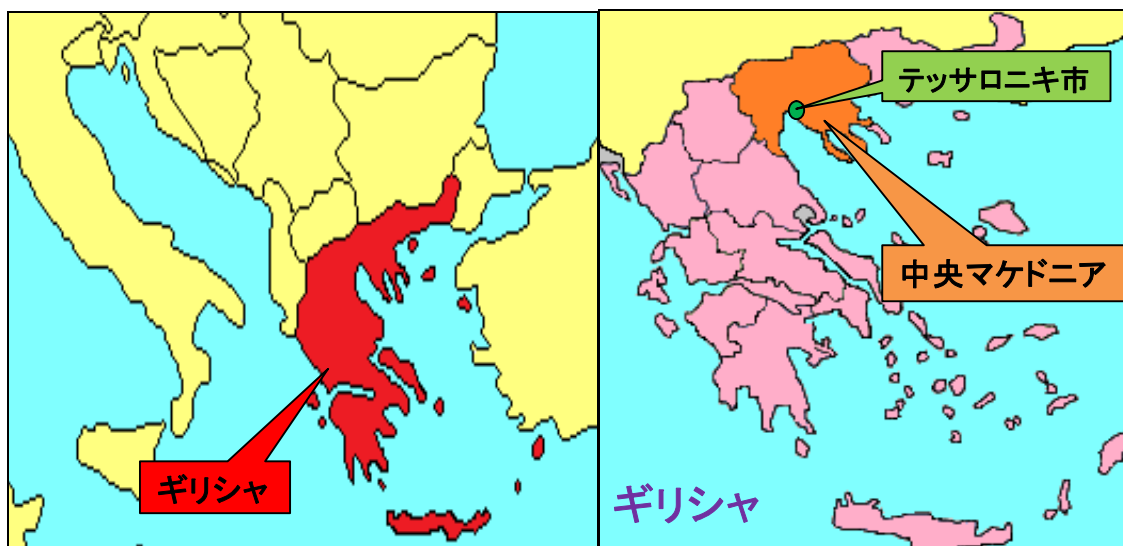


ギリシャのウエストナイル熱流行(更新 1)

2010年8月23日 ProMED 情報(Kathimerini)



8月20日、ギリシャ北部(中央マケドニア Central Macedonia)でウエストナイルウイルスの媒介蚊の種類が同定できたと研究者は報告しました。

テッサロニキ Thessaloniki 市のアリストテレス大学の専門家が、最近の数日で採集された蚊のサンプルを調査したところ、ウエストナイルウイルスを伝播している蚊がイエカ属 *Culex* のアカイエカ *Culex pipiens* 群であることをみつけました。イエカは、ウエストナイルウイルスの主要な媒介昆虫で、市街地に多く、トリを吸血します。

ギリシャ疾病対策センター(CDC)によると、8名が死亡しましたが、詳細は不明です。また、8月20日、患者15名がウエストナイル熱と新たに診断され、患者数は92名になりました。しかし、44名の患者はすでに病院での治療を受けていません。